

浜松市エネルギービジョンのポイント

背景・目的 / 第1章

東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故を契機とした国のエネルギー政策の見直しに合わせて策定した、本市のエネルギー政策のランドデザイン(全体構想)。

将来ビジョン / 第5章

エネルギー政策を通じた将来ビジョンとして、『スマートシティ・浜松』の実現を掲げた。

「スマートシティ・浜松」= 安心・安全で安定的なエネルギーを賢く利用し、持続的に成長発展する都市

エネルギー政策4本柱 / 第5章

将来ビジョンを実現するため、エネルギー政策の4本柱を立てた。

- エネルギー自給率を高める『再生可能エネルギー等の導入』 / 第5章・第6章
- 低炭素社会を実現する『省エネルギーの推進』 / 第5章・第7章
- 地域経済を活性化する『環境・エネルギー産業の創造』 / 第9章
- エネルギーを最適利用する『エネルギーマネジメントシステムの導入』 / 第8章

目標値 / 第5章・第6章・第7章

2030年度(平成42年度)を目標年度に、再生可能エネルギーと自家発電設備(ガスコージェネレーション)導入による電力自給率及び導入量、省エネルギー推進による使用電力量削減の2つの目標を立てた。

- 1 電力自給率
2011年度の4.3%から **2030年度に20.3%**
市内の発電施設による電力自給率を2011年度の32.6%から **2030年度に50.3%**
- 2 エネルギー導入量
 - ・再生可能エネルギー導入量を **2030年度に2011年度の5.1倍**
 - 太陽光発電導入量:2030年度に2011年度の11.2倍
 - 風力発電導入量:2030年度に2011年の2倍
 - バイオマス発電導入量:2030年度に2011年の2.2倍
 - ・ガスコージェネレーション導入量を **2030年度に2011年度の2.8倍**
省エネルギー(使用電力量削減)
 - ・2010年度の総電力使用量を**2030年度までに10%削減**

推進体制 / 第10章

本市のエネルギー政策に対し助言及び政策提言等を行う『浜松市エネルギー政策推進会議』を組織する。
本会議は、市長、経済界代表、エネルギーに関する有識者等で構成する。

(個別施策及びエネルギービジョンの見直し)

将来ビジョンを実現するために必要な個別具体的な施策は、毎年度、エネルギー政策の進捗状況や財政状況等を踏まえ立案し、実施していく。
また、国のエネルギー基本計画の見直しがあり、我が国のエネルギー政策の方向性に変化があった場合は、適宜、本ビジョンの見直しを行う。